

Mランドニュース Vol.167

丹波ささ山校 令和3年3月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

苦しければ、苦しいほど
「基本」に帰る

故小河 二郎 前会長
平成21年1月10日 弊社講話より

これからの時代に

取締役所長 永見 倫幸

「新型コロナウイルス」という言葉をはじめて聞き、あっという間に一年が経過しました。

これまでの常識が通用しなくなり、新しい発想が必要となり、未知のものから多くのことを学んだ一年であったと、あらためて感じます。

技能教習ではインストラクターは、Mランドキャップ(帽子)を被ることがあたりまえでしたが、マスクの着用によってゲストに表情がわかりづらくなるため、着帽はしばらく中止。教習の始まりと終わりはアームハグ(握手)があたりまえでしたが、これも感染防止のため中止にせざるを得ない状況に。



以前の教習前と後のアームハグ

ゲストの目を見てあいさつ

をするとき、脱帽しインストラクターの想いを込めゲストとアームハグをする行動は、「あなたの運転は私の運転です。ともに一時限、成長してまいりますよう」という、互いの信頼関係を築くためでもありました。

この行動ができなくなった今のMランドだからこそ、私たちの平素の言動、振る舞いが問われます。

Mランド人として、本来の在り方を自らが考え行動し、心でゲストと向かい合うことが大切です。

私たち一人ひとりが、Mランドの原点(理念)に帰らなければなりません。

Mランドの理念

- 一、Mランドはマインドデザインスクール
愛の心を基にして
自然と挨拶の美しい企業を創り
ソートリーダーを目指します
- 二、最高のサービスを提供する為
一人ひとりが一流人を目指し
譲られる人 譲る人となって
プロフェッショナルに徹します
- 三、有機体組織の創生をはかり
お客さまをパートナーとしてともに
勇気と希望をもって成長し
生成発展してゆきます

また、教習所業界を取り巻く環境も日々進化し、そ

の変化も速くなっています。

特にデジタル化の推進は、政府の政策に挙げられており、教習所業界では、教習原簿のデジタル化や、学科教習のオンライン受講への対応など早い段階で実施できるように進められています。

令和四年六月までに施行される、新たな高齢者講習制度への準備も、本格化すると思われれます。

これらの環境の変化に的確に対応していくことが求められますが、時代の流れによって変えなければならぬもの、変えてはならないもの、それぞれ大切に進めてまいります。

生き残る種というのは
最も強いものでもなければ
最も知的なものでもない。
最も変化に適應できる
種が生き残るのだ
チャールズ・ダーウィン



現在は心で向かい合います

【祝】日本農業遺産認定

二月十九日、丹波篠山市が誇る、「丹波篠山の黒大豆栽培 ムラが支える優良種子と家族農業」が農林水産省の「日本農業遺産」に新たに認定されました。



秋の風物詩【黒枝豆狩り】(卒業生)

日本農業遺産は、地域で継承されてきた伝統的な農林水産業を国が認定する制度です。

丹波篠山の黒大豆は約三百年の歴史があり、粒の大きさは世界一と評されています。この黒大豆の更なるブランド化、観光客の誘致、地域の活性化が期待されます。



世界一の黒豆をぜひご賞味あれ

また、平成二十七年には、「丹波篠山デカンショ節」民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶」が日本遺産に認定され、今回で二つ目の日本遺産の認定となりました。

さらに、ユネスコ創造都市への加盟も認められており、ますます丹波篠山が光輝くことと期待しております。

コロナ禍で暗いニュースが多い昨今、嬉しい話題が丹波篠山の町を吹き抜けました。

こぼれる笑顔

マスクと飛散防止フィルム越しにも伝わる、はじけるゲストの笑顔。笑顔の理由は節分とバレンタインデーでお渡しした、インストラクターからの心のこもったささやかなメッセージ付きプレゼント。ゲストの笑顔に私たちもしぜん笑顔がこぼれます。



思わぬチョコレートに、「にっこり！」

感謝の心

変チーム 前川 昂希

Mランドの朝は掃除からはじまるので、一日のはじまりを気持ちよく迎えることができます。

そんな清々しい朝の中でも、私が特に一番好きな朝が、ゲストとともに実施しているボランティア活動をしているときです。

これまでのMランドニュースでも幾度となくご紹介させていただいていますが、免許の取得にいられているゲストが私たちと一緒に、トイレや教習車両、館内の掃除を実践されるのです。



見えないところこそ、しっかり！

参加してくださる方の中には、十八歳から二十歳までの方で、そんな若い世代の方々が、早朝から掃除をするために、早起きし

て便器を磨き、教習車を磨き、机や椅子を磨き、結果的に自身の心も磨いておられるのです。

この光景には、Mランドに入社してから十三年経った今でも、若者たちの素晴らしい行動に感動しています。

ボランティアに参加してくださる理由は人それぞれで、「以前、友だちが参加していて、楽しいと言っていたから」、「Mマナーが欲しいから」、「誘われたから」など、さまざまです。

何はともあれ、ボランティアに参加し、私たちと一緒に朝から掃除をしていただけける皆さんの気持ちには、感謝の言葉しかありません。

五十分間のボランティアを終えたあとの感想発表では、「掃除をして気持ちよかったです」、「思っていたよりずっと楽しかった」、「家でも掃除をしようと思った」、「いつも掃除をしてくれている方に、感謝の気持ちで芽生えた」、「是非また参加したい」などとお話されます。

掃除から貴重な気付きを学ばれるゲストたちの表情は、私たちの取り組みの大きな励みになっています。



トイレ掃除の後に「ハイ チーズ!!!」

お便り

先日、卒業された、安倍香代子様より心温まるお便りをいただきましたのでご紹介させていただきます。

拜啓

極寒の候、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

おかげさまで、卒業させていただいてから二日後には無事に一回で免許交付をしてもらうことができました。

私は何年前かにテレビでMランドのことを知ってから、いつか免許を取る時には、絶対ここで取ろうと決めていました。

入所させていただいただけで、一つ夢が叶っていたのですが、実際に入校してから、たくさんさんの経験をさせていただいたことで、本当にここを選んでよかったなど、毎日毎日感じさせていただいております。

した。

特にインストラクターの方から「がんばってくれてありがとう」とありがとうカードをいただいたことには衝撃で、自分のためだし、卒業するためにがんばるのは当たり前前なのに、そんなことにも「ありがとう」って伝えてくださるのかと、びっくりしたのと同時に、私自身も日々なんとなく過ぎていく時間の中にも、たくさんさんの「ありがとう」という感謝の気持ちが湧くようになりました。

私がどうしようかなと戸惑っていると優しく声をかけて下さり、何時も親切に丁寧な対応をしてくださった受付の方、きつとプロからしたら「こんなこと?」と思われそうなの質問も、すぐに仕事の手を止めて、わかるまで丁寧に教えてくださった受付のインストラクターの皆さま、毎日美味しいできたてのご飯を、提供してくださった「カフェミロ」のスタッフの皆さま、居心地の良いきれいな空間を毎日作り続けてくださっていたホーマーさんや清掃スタッフの皆さま、知識も想いも最大限に伝えて下さった学科のインストラクターの皆

さま、どんくさすぎて技能がなかなかうまくいってないであろう私に、どうしたら理解できるか、あらゆる伝え方を工夫して下さり、不安な気持ちに寄り添いながら、よくなったところをみてくださって、できるようなるまで一つずつ気持ち良く、根気強く教え続けて下さったインストラクターの皆さまに、感謝の気持ちでいっぱいです。

そして優しいさっぱいの皆さまからの「ありがとうカード」は私の宝物で、ずっと大切にしつつ、たまに見返しながらがんばろうと思っております。

Mランドで教習を受けさせていただいたおかげで、私の中の日常は「ありがとう」があふれているなど、改めて気付かせてもらうことができました。

Mランドの教習でなければ、「テストだけ受かってペーパードライバーでもいいや」と思っていたかもしれないところでしたが、せっかく教えてもらったのだから、周りの人々にとっても安全な運転がしっかりとできて、乗りこなせるように成長したいと思

わせていただけるようになりました。

いただいた経験が大きすぎて、あげだすとキリがないですが、卒業させてよかったなと思っていただけの運転・人間になれるよう「變の心」を持ち続けて成長します。

本当に素晴らしい時間をありがとうございました。

コロナも落ち着かず、寒い毎日ですが、Mランドの皆様のお健康をお祈りしつつお礼申し上げます。 敬具



念願の「運転免許証」とともに

編集後記

一人ひとり個性があるゲストですから、向き合い方も違っていき当たり前。同じ伝え方をしているプロとは言えませんが、安倍様のように喜んでいただけることは私たちの喜びでもあります。

私たちも日々研鑽、成長しなければなりません。(徹)